

第36回 秋田県優良工事表彰



平成27年8月
秋 田 県

表紙：第36回秋田県優良工事表彰から

左上：沢内地区 地すべり対策事業 26-02221-K01工事

右上：岩井沢 治山施設機能強化事業 RF1115A921工事

中央：都市公園安全安心対策事業(県立小泉潟公園) 25-UA23-30工事

左下：県単河川改良事業(横手川) K416-10工事

右下：地方道路交付金事業(国道285号) 25-HF54-40工事

第36回 秋田県優良工事表彰式

と き 平成27年8月25日(火)
午後3時30分～5時
ところ 秋 田 県 庁 正 庁

次 第

1. 開式のことば
2. 式 辞 知 事
3. 審 査 報 告 建 設 部 次 長
4. 表 彰 状 授 与 知 事
5. 来 賓 祝 辞 県 議 会 副 議 長
6. 受 賞 者 謝 辞 受 賞 者 代 表
7. 閉式のことば



第36回秋田県優良工事表彰から
鹿角第二地区 公害防除特別土地改良事業
00306-K04工事
(鹿角市十和田毛馬内)

目次

・ お祝いの言葉	2
・ 第36回秋田県優良工事表彰について	3
・ 第36回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	31
・ 秋田県優良工事表彰要綱	32



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

第36回秋田県優良工事表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

この表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年で36回目を迎えました。

今回受賞された25件は、対象となる1,704件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成された他の模範となる工事であります。

建設業は、生活や経済・産業活動を支える社会資本整備の担い手として、また、県民の安全・安心な暮らしを守る基幹産業として、重要な役割を担っております。

県では、今後とも、公共事業予算の確保や県内建設企業の受注機会の確保に努めるとともに、新技術・新工法導入等活動領域の拡大に向けた支援等を通じて建設業の経営体質の強化を図るなど、建設産業の振興に取り組んでまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、本県における社会資本整備の担い手として、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いのことばといたします。

第36回秋田県優良工事表彰について



秋田県優良工事表彰幹事長
秋田県 建設部 次長
柴田 公博

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。平成20年度からは、小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を創設しております。

今回は、平成26年度に完成した工事の中から、25件の工事を優良工事として表彰するものです。施工者の内訳は22社、3共同企業体となっており、このうち、1社が10回目の受賞、2社が5回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

これらの工事においては、気象条件やそれぞれの施工上の厳しい制約を克服する優れた技術力と創意工夫、品質向上や安全対策における独自の取り組み、関係機関・地域住民との円滑な調整などが見られます。このように、綿密な施工管理の下に完成された出来形や品質・出来映えに加え、施工プロセスにおいても特に優れていると評価されたものであり、そのご努力に対し敬意と感謝を表すものであります。

今回の優良工事表彰を機に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。

第36回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	7	鹿角第二地区 公害防除特別土地改良事業 00306-K04工事	鹿角市 十和田毛馬内	株式会社柳沢建設	柳沢 義生	鹿角地域振興局
2	8	堪忍沢地区 地すべり対策事業 06006-K01工事	鹿角市 花輪	株式会社宮原組	宮原 竜也	鹿角地域振興局
3	9	地方道路交付金事業 (国道285号) 25-HF54-40工事	北秋田市 米内沢	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田地域振興局
4	1	河川災害復旧事業 (長木川) 25災0160-10工事	大館市 東	株式会社オオタバ	澤口 美恵子	北秋田地域振興局
5	8	岩館漁港 水産生産基盤整備事業 10126-K02工事	八峰町 八森字岩館	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
6	2	県単河川改良事業 (桧山川) 26-K212-10工事	能代市 桧山字川向	株式会社石川組	石川 和雄	山本地域振興局
7	中田建設 7 大森建設 8	能代港第2灰捨護岸建設事業 (能代港外港地区) 25-Z102-K1工事	能代市 河戸川	中田・大森 特定建設工事共同 企業体	広幡 信悦	能代港湾事務所
8	8	昭和豊川地区 農地集積加速化基盤整備事業 04302-K10工事	潟上市 昭和豊川	株式会社菅与組	畠山 順太郎	秋田地域振興局
9	3	都市公園安全安心対策事業 (県立小泉瀧公園) 25-UA23-30工事	秋田市 金足嶋崎	むつみ造園土木株 式会社	佐々木 創太	秋田地域振興局
10	1	地方道路交付金事業 (寺内新屋雄和線) 26-FI54-40工事	秋田市 浜田館の丸	株式会社中山組	千葉 利則	秋田地域振興局
11	菅与組 8 沢木組 6 寒 風 4	地方道路交付金事業 (国道285号) 25-HF16-N1工事	五城目町 富津内中津又	菅与・沢木・寒風 特定建設工事共同 企業体	畠山 順太郎	秋田地域振興局
12	8	地方道路等整備事業 (入道崎寒風山線) 26-G704-10工事	男鹿市 北浦相川	株式会社板橋組	板橋 広光	秋田地域振興局
13	4	地方特定道路整備事業 (男鹿琴丘線) 25-I324-10工事	男鹿市 脇本百川	株式会社寒風	菅原 廣悦	秋田地域振興局
14	6	広域河川改修事業 (豊川) 25-KA31-10工事	潟上市 昭和船橋	株式会社沢木組	沢木 則明	秋田地域振興局
15	宮原組 8 沢木組 6	沢内地区 地すべり対策事業 26-02221-K01工事	由利本荘市 東由利宿	宮原組・沢木組 特定建設工事共同 企業体	宮原 竜也	由利地域振興局
16	5 今 回 特別表彰	地方道路交付金事業 (国道108号) 26-HF18-60工事	由利本荘市 矢島町立石	矢島建設株式会社	土田 克夫	由利地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第36回 秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工 事 名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
17	4	地方道路交付金事業 (国道107号) 25-HF17-30工事	由利本荘市 御門	長田建設株式会社	長田 憲一	由利地域振興局
18	1	岩井沢 治山施設機能強化事業 RF1115A921工事	仙北市 田沢湖生保内	万六建設株式会社	田中 恒雄	仙北地域振興局
19	6	前沢線2工区 流域育成林整備事業 RF1201A111工事	大仙市 協和峰吉川	進藤建設株式会社	進藤 章	仙北地域振興局
20	7	県単道路改築事業 (大曲大森羽後線) I106-90工事	大仙市 大曲福住町	高吉建設株式会社	佐藤 藤男	仙北地域振興局
21	5 今 回 特別表彰	亀福(二期)地区 公害防除特別土地改良事業 00207-K02工事	横手市 増田町	株式会社吉田建設	吉田 博行	平鹿地域振興局
22	3	県単道路補修事業 (野崎十文字線) G557-20工事	横手市 大雄字田根森	ミノル工業株式会 社	神谷 俊彦	平鹿地域振興局
23	10 今 回 特別表彰	県単河川改良事業 (横手川) K416-10工事	横手市 下境	伊藤建設工業株式 会社	中村 清昭	平鹿地域振興局
24	4	二ツ橋地区 ため池等整備(ため池)事業 01304-K01工事	羽後町 上仙道	株式会社柴田組	柴田 晋	雄勝地域振興局
25	2	地方道路交付金事業 (国道108号) HF15-60工事	湯沢市 秋ノ宮	株式会社皆瀬土木	高橋 光明	雄勝地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

1 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	鹿角第二地区 公害防除特別土地改良事業 00306-K04 工事		
施工地名	鹿角市十和田毛馬内		
商号又は名称	株式会社柳沢建設	許可番号	05-001843
請 負 額	65,613,240 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 柳沢 義生		
監理技術者等	現場代理人 黒沢 靖規		
発注公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	中田 藤春	監 督 員	三澤 克則
工 期	平成26年3月28日～ 平成26年11月28日	完成年月日	平成26年11月5日
概 要	1) 客土工 A=2.9ha		
特 徴	1) 区画整理工を実施した後、土取り場から客土を搬入し、27.5cmの客土を上乗せする工事である		
写 真			
			
着工前		完 成	

◆発注公所の推薦理由

- ・客土運搬前に運搬経路を検討し、狭小区間の通行を減らしたことで事故防止に繋がったとともに、運搬経路沿線自治会に協力依頼の回覧を行ったことで、苦情やトラブルなく工事が終わった
また、工事現場の近隣住民に対する配慮も徹底していた（チラシ配布や子供でもわかる工事看板の設置）
- ・下流域において作付けが行われているため、濁水対策により清水の維持に努めた
- ・排土板を自動で制御する機能が搭載されたブルドーザを使用し、精度の高い整地作業を行った

◆施工業者からのPR

- ・客土運搬において、運搬前に運搬経路の検討・補修をし、協力依頼の回覧を行い、打合せを重ねることでスムーズな客土運搬を行い、工期よりも早く完成させた
- ・沈殿池を設置し吸い出し防止マットでろ過し、濁り水の流出を防いだ
- ・また、整地作業においてはレーザーレベルに反応し自動で排土板を制御するブルドーザを使用することにより均平度の精度を高めた
- ・本工事に対しご指導、ご協力いただきました各位には心より御礼申し上げますと共に、本受賞を励みに今後も技術研鑽を重ね、地域社会に貢献できるよう精進して参りたいと思います

2 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	堪忍沢地区 地すべり対策事業 06006-K01工事		
施工地名	鹿角市花輪		
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請 負 額	10,677,960 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 渡邊 憲幸		
発注公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	中田 藤春	監 督 員	今田 裕樹
工 期	平成26年11月28日～ 平成27年3月20日	完成年月日	平成27年3月20日
概 要	1) 法面保護工 A=331.2m ²		
特 徴	1) 本工事は、崩壊土砂の撤去及び法面の崩壊・風化・浸食を防ぐことを目的とし、連続繊維補強土により斜面の安定化を図る工事である		
写 真			
			
着工前		完 成	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・切土完了後、法面中央部に不安定土砂が見られたため、地盤調査を実施し、的確な対策（土砂撤去・湧水の排除・支持杭の打ち込み）により斜面の自立安定を図った ・新技術情報提供システムを積極的に活用した（後方監視カメラ搭載油圧ショベルの使用、全天候型耐久常温合材の使用、防音と振動を抑えたランマの使用）

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・現場は土砂崩壊が発生した箇所でしたが、一部湧水箇所から切土面が崩壊するおそれがあったので、適切な湧水処理を行い、補強杭を打ち込むなどして二次災害の防止に努めながら施工を行いました ・今後も熟練した法面工の育成を継続的に行い、技術と施工能力の向上に努め、秋田県の防災対策の一翼を担えるよう努力して参ります

3 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道285号） 25-HF54-40工事		
施工地名	北秋田市米内沢字滝ノ沢		
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	00-024461
請 負 額	46,361,160 円	工種・格付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 小林 勇輝		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	山西 龍馬	監 督 員	石井 はるか
工 期	平成26年3月7日～ 平成26年8月29日	完成年月日	平成26年8月6日
概 要	1) 施工延長 L=412.6m 2) アスファルト舗装工 A=3,880m ² 3) 歩道路盤工 A=942m ² 4) 歩道舗装工 A=930m ² 5) 縁石工 L=407m 6) 踏掛版工 1式		
特 徴	1) 隣接工事との工程・施工調整 2) 夏季作業に伴う安全衛生関係の充実		
写 真			
			
起点側～中間部		中間部～終点部	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、国道285号における線形不良、幅員狭小区間及び急勾配区間を解消し、安全で円滑な交通確保をすることにより、広域的な幹線道路としての機能強化を図るためのバイパス工事である ・当工区は、舗装工が主な工種であり、工事用の進入路が、起点側からのみであり、隣接工区との工程調整が最も重要な課題であったが、工期に余裕を持ち、かつ良好な品質・出来形で完成したため、優良工事に推薦する

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・隣接工区との施工調整会議を週一で行い、作業上の問題点等を事前に洗い出した ・隣接工区への影響を考え、舗装乳剤等の工夫に努めた ・積極的に地域の活動に参加するとともに、周辺環境の整備にも努めた

4 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	河川災害復旧事業（長木川） 25災0160-10工事		
施工地名	大館市東		
商号又は名称	株式会社オオタバ	許可番号	05-004417
請 負 額	33,009,120 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 澤口 美恵子		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 義一		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	五十嵐 敦志	監 督 員	佐藤 利将
工 期	平成25年12月20日～ 平成26年5月30日	完成年月日	平成26年5月30日
概 要	1) 施工延長 L=80m 2) 護岸工（コンクリートブロック張工） A=1,096m ²		
特 徴	1) 徹底した施工管理と創意工夫のある施工を行った 2) 施工中には、自然環境の保全にも配慮した		
写 真			
			
完成後全景		施工状況	
		長木川生息魚類の保護	

◆発注公所の推薦理由

- ・本工事は、平成25年8月の集中豪雨で被災した堤防の災害復旧工事で、冬期間での厳しい施工条件下で適切な品質・工程管理や創意工夫を行い、出水期前までに完成させた工事である
- ・コンクリートブロック張工や根固めブロック工等の施工管理をきめ細かに行ったことにより、出来形・出来映えが良く、また、仮締切内に入り込んだ魚を川に放流する等、長木川に生息する魚類を保護し、自然環境の保全を積極的に行ったこと等、工事全体が高く評価できる

◆施工業者からのPR

- ・コンクリートブロック張施工時は作業所規格値を設け、1段ごとに勾配・基準高・法長等を確認し日々の施工管理を厳密におこなった結果、完成時の出来形は規格値を十分に満足するものとなり、出来映えに関しては、張りブロックの起伏等がなく既設護岸とのなじみもよいものとなりました
- ・仮締切内に魚類等が入り込むことが予想されたので、作業時に確認し捕獲・放流をおこない、積極的に魚類等の保護に努めました

5 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	岩館漁港 水産生産基盤整備事業 10126-K02工事		
施工地名	八峰町八森字岩館		
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	00-024641
請負額	75,678,840円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 舘岡 勇人		
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 哲哉	監督員	藤本 賢
工期	平成26年10月30日～ 平成27年3月20日	完成年月日	平成27年3月20日
概要	1) 護岸（新設） L=220m 2) 臨港道路（改良） L=220m		
特徴	1) 冬期間の厳しい気象・海象条件（波浪・強風・吹雪など）の中での海岸沿線護岸の新設工事である 2) 住宅地に近接しており、騒音・振動等、施工上の制約の多い現場である		
写 真			
			
着手前 既設ブロックを流用した波浪対策 完成			

◆発注公所の推薦理由

- ・ 厳寒期における現道を利用しての難工事であったが、交通整理員を配置するなど工程を工夫し工期内に完了し、かつ品質・出来形についても優秀な成績であった
- ・ 施工上の疑義や問題発生時の対応において、現場代理人の報告が迅速であり、かつ問題解決のための対応内容に優れていた
- ・ 工事期間中において、車両の通行や、振動・騒音などの影響が最小限となるよう施工対策に努め、地域住民からの評価が特に優れていた

◆施工業者からのPR

- ・ 工事にあたって、自治会、漁業組合ほか関係者への工事説明会を行い積極的にコミュニケーションを図ることによりトラブルもなく無事故・無災害で完成することが出来ました
- ・ 波浪時期の護岸工事であったため、時化、強風による越波対策として既存ブロックを流用し消波仮据付を行い手戻りを防止するなどの工夫で、品質確保、工程管理に努めました
- ・ 護岸工の施工にあっては、平面線形要素がきつく難易度の高い構造物でありましたが、特注R加工型枠採用などの工夫により、出来形の確保、及び出来栄への向上に努めました

6 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単河川改良事業（桧山川） 26-K212-10工事		
施工地名	能代市桧山字川向		
商号又は名称	株式会社石川組	許可番号	05-005004
請 負 額	40,448,160 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 石川 和雄		
監理技術者等	現場代理人 北嶋 高雄		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 浩喜	監 督 員	小野 伸太郎
工 期	平成26年8月28日～ 平成27年3月20日	完成年月日	平成27年3月20日
概 要	1) 施工延長 L=120.0m 2) 護岸基礎工（鋼矢板） N=35枚 3) 法覆護岸工 A=248.0m ²		
特 徴	1) 崩落した護岸の復旧工事である 2) 住宅地に隣接し、作業スペース、騒音、振動等様々な制約がある		
写 真			
			
着手前		完成後	
護岸基礎工(鋼矢板) 打ち込み状況			

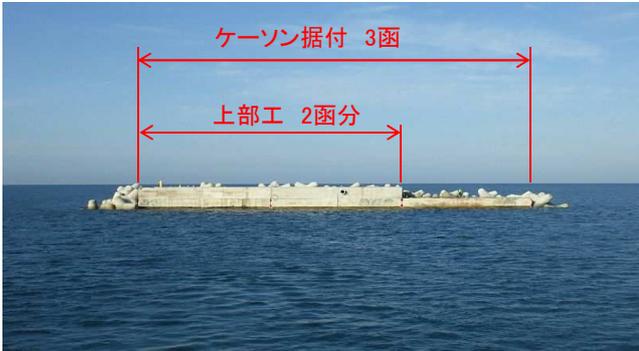
◆発注公所の推薦理由

- ・住宅地に隣接しており、また住宅下の護岸が崩落していることから、護岸基礎工（鋼矢板）の打ち込みに際して騒音のみならず振動の影響が懸念されたが、「サイレントパイラー（油圧式杭圧入引抜機）」を使用することでこれらを克服した
- ・護岸施工時の仮締切においては、河川内での作業スペース及び河積の確保、また増水時の仮締切決壊による工程の遅れを最小限とするために「建込簡易土留」を使用し、無事、工期内に完成させた

◆施工業者からのPR

- ・融雪出水前に完成させるためには周辺家屋の保存と繰返し作業のない安全で確実な施工が不可欠であるため、使用機械や締切工法の選択に配慮し、問題なく工期内に完成させることが出来ました
- ・護岸工にはスプリットブロックを使用し、施工性の向上と美観環境の形成を図りました
- ・本受賞を励みに、今後ともさらなる技術向上に努め、地域社会に貢献して参ります

7 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	能代港第2灰捨護岸建設事業（能代港外港地区） 25-Z102-K1工事		
施工地名	能代市河戸川		
商号又は名称	中田・大森特定建設工事共同企業体		
請 負 額	312,407,280 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	中田建設株式会社 代表取締役社長 広幡 信悦		
許可番号	00-002898	監理技術者等	現場代理人 庄司 賢一
(構 成 員)	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
(許可番号)	00-024641	(監理技術者等)	主任技術者 諸沢 崇
発注公所	能代港湾事務所（建設部）		
主任監督員	桜庭 正人	監 督 員	菊地 次翁
工 期	平成26年3月31日～ 平成26年11月28日	完成年月日	平成26年11月14日
概 要	1) 施工延長 L=150.21m 2) 基礎捨石工 V=5,730m ³ 3) ケーソン据付工 N=3函 4) 上部コンクリート工 V=820m ³		
特 徴	1) 能代火力発電所からの石炭灰を埋立しながら最終処分する埋立護岸を新規に築造する工事である 2) 基礎マウンドを整形し、製作済であるケーソンを港内から曳航し設置した後、上部コンクリートを打設する		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">完 成 後</p>			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外港部に新たに築造する構造物であるため、波浪・潮流の影響を直接受ける現場でありながら、陸上工事並の高精度でケーソンの据付を完成させた ・ 能代港は港湾利用の国内船・国外船のほか能代火力専用の石炭船、地元漁業船・プレジャーボート等すべての船舶が1本の航路を利用するが、その中で連絡調整を積極的に行い、海上事故の防止に徹底した

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ ウインチ操作によるワイヤリングと、起重機船によるつり込みの併用作業にてケーソン据付作業を行ったことから、5mm～40mmの高精度で据付することが出来ました ・ 港湾利用者関係各位との打合せを密に行うことにより、接触事故などなく、工期内無事故で工事を終えることが出来ました

8 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	昭和豊川地区 農地集積加速化基盤整備事業 04302-K10工事		
施工地名	潟上市昭和豊川		
商号又は名称	株式会社菅与組	許可番号	05-000958
請 負 額	158,887,440 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 畠山 順太郎		
監理技術者等	現場代理人 牧野 政紀		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	石井 源直	監 督 員	高橋 幸大
工 期	平成26年5月12日～ 平成27年3月20日	完成年月日	平成27年3月20日
概 要	1) 区画整理工 A=10.9ha		
特 徴	1) 一般県道古井内大久保停車場線、市道秋田五城目線及び二級河川豊川に囲まれ、一般車両への安全対策や河川の増水への配慮が必要となる		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 着工前 完 成 施工状況 </div>			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事受注者が安全協議会の会長として、他6工区の受注者及び地元関係者との連絡調整を図ることにより、全工区において円滑に工事を進めることができた また、県道及び市道に隣接する工区であり一般交通に対する安全対策が的確に行われていた ・ 7～8月に雨天が続き、田の整地作業が出来ない状況であったが、班編制を増やして厳しい工程の中で秋の転作時期に間に合うよう整地作業を完成する事ができた ・ 河川へ設置されたコンクリート構造物について、冬期間の施工であったため、養生温度管理器具の工夫や乾燥防止材を塗布する等、良好な品質管理に努めた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業用水量が少ない地域の実情に沿って、地元関係者との調整を図り、円滑に工事を進めた ・ 重機・資材搬入に関して、資材会社の担当者も交えた安全訓練の実施により、保育園前の通行を避け、広域農道側の運行とすることで、一般通行車両及び歩行者の安全確保に努めた ・ 渇水時期に施工が制限される樋管工と支線用水路工（揚水機場・吸水槽）は、水位の安定した時期を逃さず集中的に施工することで、全体工程に遅れが生じないよう工程管理した

9 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	都市公園安全安心対策事業（県立小泉潟公園） 25-U A 23-30 工事		
施工地名	秋田市金足嶋崎		
商号又は名称	むつみ造園土木株式会社	許可番号	00-009275
請 負 額	48,542,760 円	工種・格付	造園 A級
代 表 者	代表取締役 佐々木 創太		
監理技術者等	現場代理人 信太 和仁		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤元 栄悦	監 督 員	高階 優子
工 期	平成26年9月22日～ 平成27年3月25日	完成年月日	平成27年3月23日
概 要	1) プレキャストU型側溝 L=258m 2) 地下排水管 L=208m 3) インターロッキング舗装 A=1,108m ² 4) タイル舗装 A=63m ² 5) 階段工 7箇所		
特 徴	1) 維持管理・周辺景観・安全性を考慮した施設の提案・実施 2) 公園利用者へ配慮した製品使用、看板設置		
写 真			
 <p style="text-align: center;">着工前</p>		 <p style="text-align: center;">完成（供用開始後）</p>	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期間の施工もある中、出来形、品質ともに優れ、円形部の縁石を30cm製品を使用する、側溝グレーチングに予め切断加工したものを使用するなど仕上がり、安全面に配慮した施工管理であった ・ 施設の維持管理及び周辺景観などを考慮した提案などを積極的に行い、より良い噴水広場となるよう熱意が感じられた ・ 噴水広場の完成イメージ看板の設置やバリエードに代わり周辺景観に配慮してオレンジネット施工エリアの仮囲いを行うなど、公園利用者への配慮が見られた ・ 別工事との協議会設置や調整を密に行い、噴水広場全体の仕上りを考慮した施工であった

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所は高低差があるため、階段部の施工など上部エリアから順序に仕上げる必要があり、手戻りとならないように作業工程を適宜見直し、余裕をもって完成させることができました ・ 周囲が既存の石積みなどで囲われているため、細部の収まりや周辺景観との調和に留意して施工を行いました ・ 本工事の完成後も、別途工事が継続しており、その施工業者と打ち合わせを密に行い、噴水広場全体の完成イメージを共有して施工を進めました

10 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（寺内新屋雄和線） 26-F154-40 工事		
施工地名	秋田市浜田館の丸		
商号又は名称	株式会社中山組	許可番号	05-040157
請 負 額	68,912,640 円	工種・格付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役 千葉 利則		
監理技術者等	現場代理人 川邊 弘幸		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	太田 哲	監督員	松塚 忠政
工 期	平成26年8月29日～ 平成27年1月9日	完成年月日	平成27年1月9日
概 要	1) 施工延長 L=370.0m 2) 舗装打換工 1式 3) 縁石工 L=366m 4) 伸縮装置取替工 L=44.4m 5) ひび割れ注入工 L=42m 6) 車道床版断面欠損部補修 1式 7) 歩道・車道床版クラック補修 1式		
特 徴	1) 周辺へのイメージアップおよび県民向け説明会の開催 2) 交通解放しながらの補修工事への適切な対応		
写 真			
			
車道床版ひび割れ補修		車道床版破損箇所補修	
さきがけ誌上でも報道された見学会			
◆発注公所の推薦理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工事は供用から約20年が経過し舗装の破損が著しい館の丸大橋の橋面補修工事である橋の長寿命化の要である床版防水工や伸縮装置の交換など難度の高い工事を、管内でも比較的交通量の多い工事区間にあって、限られた施工時間帯の中で品質・出来形管理に配慮し、優れた出来映えで工事を完成させた 特に別途発注となった他工事との重複施工にも係わらず、互いに工程調整を実施し、無事故で竣工した ・施工現場のイメージアップも怠らず、景観に配慮した現場事務所を設置した さらに平成26年10月25日に開催された県民向けの現場見学会では、橋の舗装・床版の劣化メカニズムを模型を用いて説明し、社会資本の維持補修の重要性を啓発するとともに、子供向けに工事用車両の体験搭乗を実施し建設業界のPRも実施した 			
◆施工業者からのPR			
<ul style="list-style-type: none"> ・常に強風であるという現場条件に対応するため、気象の情報収集に努めながら作業し、歩行者に対しても、段差処理のためのゴムマットに接着固定をする等安全確保に努めた ・交通量の多い工区であったので、終日規制をかけるに当たり交通渋滞が懸念されたので予告看板や電光掲示板を利用し事前PRを早期に行った ・夜間規制時についても交通誘導員の交代制配置により安全に配慮し、又、監視員を配置し路面凍結に対しても配慮した 			

1 1 第 3 6 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆ 工事概要

工 事 名	地方道路交付金事業（国道 2 8 5 号） 2 5 - H F 1 6 - N 1 工 事		
施 工 地 名	五 城 目 町 富 津 内 中 津 又		
商 号 又 は 名 称	菅 与 ・ 沢 木 ・ 寒 風 特 定 建 設 工 事 共 同 企 業 体		
請 負 額	731,850,000 円	工 種 ・ 格 付	一 般 土 木 A 級
代 表 者	株 式 会 社 菅 与 組 代 表 取 締 役 畠 山 順 太 郎		
許 可 番 号	05-000958	監 理 技 術 者 等	現 場 代 理 人 菅 生 悟
(構 成 員)	株 式 会 社 沢 木 組 代 表 取 締 役 沢 木 則 明		
(許 可 番 号)	05-005082	(監 理 技 術 者 等)	主 任 技 術 者 飯 沼 忠 志
(構 成 員)	株 式 会 社 寒 風 代 表 取 締 役 社 長 菅 原 廣 悦		
(許 可 番 号)	00-0023067	(監 理 技 術 者 等)	主 任 技 術 者 杉 本 信 一
発 注 公 所	秋 田 地 域 振 興 局 （ 建 設 部 ）		
主 任 監 督 員	太 田 哲	監 督 員	佐 藤 元 彦
工 期	平 成 25 年 10 月 11 日 ~ 平 成 27 年 3 月 25 日	完 成 年 月 日	平 成 27 年 3 月 25 日
概 要	1) 施 工 延 長 L=670m 2) トンネル工 [NATM] L=239m		
特 徴	1) 終 点 側 坑 門 工 の 施 工 に 鉄 筋 型 枠 先 行 工 法 を 採 用 し、工 事 工 程 を 短 縮 2) 鏡 吹 付 の 施 工 に よ り、支 保 工 建 込 ・ 吹 付 け ・ ロ ッ ク ボ ル ト 打 込 作 業 の 安 全 を 確 保		

写 真



鉄筋型枠先行工法（終点側）



鏡吹付

◆ 発注公所の推薦理由

- ・ 本工事は、国道 2 8 5 号の道路改良事業に伴うトンネル工事であった
- ・ トンネル掘削において、当所の想定より岩質の硬い区間が出現し、ブレイカ掘削が予定通り進まなかったため、発破工法へ切り替えた
このため、工事工程の短縮を図ることを考慮し、終点側坑門工の施工に鉄筋型枠先行工法を採用した
- ・ また、切羽の状況を確認したところ、落盤・肌落ちによる事故の危険性があったため、労働者への安全確保を考慮し、鏡吹付を全施工区間で実施した
- ・ 上記のように工程管理及び安全管理に特筆していたことから、優良工事にふさわしい

◆ 施工業者からの PR

- ・ 施工機械（エレクター付吹付機）、作業工法（鉄筋型枠先行工法）の選定により作業効率を上げ、工期短縮を図った
- ・ 坑門に膨張剤配合コンクリートを使用し、遮風シートを設置して養生し、覆工型枠脱型後には乾燥収縮低減剤を散布してコンクリートのひび割れ防止に努めた
- ・ ずり仮置場に土留材で高低差を設け、掻揚げ作業・積込・搬出作業の効率化を図った
- ・ インバート下部、坑門背面に暗渠管を設置したことで、湧水を良好に処理できた

12 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路等整備事業（入道崎寒風山線） 26-G704-10 工事		
施工地名	男鹿市北浦相川		
商号又は名称	株式会社板橋組	許可番号	05-001354
請 負 額	48,837,600 円	工種・格付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人 三浦 政樹		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	太田 哲	監 督 員	松塚 忠政
工 期	平成26年7月4日～ 平成27年3月20日	完成年月日	平成27年3月20日
概 要	1) 施工延長 L=16.95m 2) 橋面工 1式 3) 床版取替工 A=126.0m ² 4) 伸縮装置設置工 L=14.4m 5) 塗替塗装工 A=210m ² 6) 下部補修工 1式 7) 仮設工 1式		
特 徴	1) 仮設工法の工夫による交通障害の軽減 2) 橋梁長寿命化への配慮		
写 真			
			
竣工写真		主桁補強状況	
			
片側交互通行状況			

◆発注公所の推薦理由

- ・当該工事は供用から約60年が経過し床版・舗装の破損が著しい大増川橋の耐荷力を現行示方書レベルへ引き上げる橋梁補強工事であり、橋の長寿命化の対策にも配慮した施工を実施した
- ・現場は日本海に面した管内でも有数の施工条件の厳しい現場でありながら、劣化部材の取り壊しから補強部材の取付、新床版の製作、舗装に至るまで、全面通行止めにすることなく無事故で竣工した
- ・特に当初設計で不可避としていた一時的な全面通行止めを施工機械の機種選定及び配置計画の見直しなどにより回避するとともに、片側交互通行時の仮設ガードレールの設置治具の工夫により車両通行帯幅を広くする事に成功し、路線バス等の運行の安全性も高め施工期間内の交通障害を最小限に留めた

◆施工業者からのPR

- ・施工機械の選定と仮設受け台の製作により、路線バスの通過と一般車両の片側交通通行を可能にし、最小規制での施工を行った
- ・過去の経験から、完全埋設型の伸縮装置の設置にあたり、表層深さ3cmのカッターを入れる等、表層のひび割れに対応した
- ・足場工では墜落防止の為、床版の桁上破砕用足場を上フランジと同じ位の高さで設置し、施工を行った

13 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方特定道路整備事業（男鹿琴丘線） 25-1324-10工事		
施工地名	男鹿市脇本百川		
商号又は名称	株式会社寒風	許可番号	00-023067
請 負 額	85,075,920 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 菅原 廣悦		
監理技術者等	現場代理人 藤垣 和弘		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	太田 哲	監 督 員	佐藤 元彦
工 期	平成25年10月25日～ 平成26年7月11日	完成年月日	平成26年7月11日
概 要	1) 施工延長 L=859m 2) 裁荷盛土工 V=2,200 ³ 3) 地盤改良工 V=2,900 ³ 4) 下層路盤工 A=4,890 ²		
特 徴	1) 地盤改良における飛散防止型セメントの使用 2) 周辺への影響を考慮したNETIS登録製品（施工機械）の使用		
写 真			
			
着手前		完成後	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は主要地方道男鹿琴丘線の道路改良（バイパス）工事である ・周辺の住居に配慮し、NETIS登録の施工機械等（オイルフェンス一体型発電機、超低騒音ブレーカー、ソーラ一点滅灯など）を使用した ・また、田畑及び周辺環境に配慮し、飛散防止型セメントを使用するなど工事により、周辺地域に与える影響を最小限のものとした ・住民とのコミュニケーションを図り、要望を出しやすい環境を作ることによって、苦情によるロスを無くした ・施工箇所が現道拡幅箇所だったが、住民及び市町村、警察と協議し、工事の際に全面通行止めとすることにより工期短縮を図った

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・工事対象道路は田畑に面し、施工中は田植え時期とも重なるため、住民や利用者からの苦情を最小限に抑えることが安全且つ円滑な現場運営につながると考えた ・そのため住民へ工事中に予想される不具合とその対策について納得するまで説明し、工事に対する不安や不満を取り除くことで工事への理解と協力を得ることができた ・地域住民の要望であった用排水路の再検討、農道乗り入れ部の拡張、田へのダスト材敷入れ等にも工事として可能な限り配慮した

14 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	広域河川改修事業（豊川） 25-KA31-10工事		
施工地名	潟上市昭和船橋		
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請 負 額	62,975,880 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	現場代理人 福岡 幸一		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐藤 辰也	監 督 員	佐藤 勝之
工 期	平成26年8月29日～ 平成27年3月27日	完成年月日	平成27年3月27日
概 要	1) 農道橋 L=25.5m 2) 土工 N=1式 3) 橋梁下部工 N=2基 4) 護岸工 A=239m ² 5) 仮設道路・残土置場整地工 N=1式		
特 徴	1) 工程短縮のための施工方法の提案、実施 2) 品質確保のための取り組みの実施		
写 真			
			
完成写真		下部工設置状況	

◆発注公所の推薦理由

- ・本工事は、河川改修工事に伴う農道橋の架替工事のうち、下部工の施工を実施したものである
- ・他の施工業者による下流側護岸工の工事が同時期に行われており密な調整が必要であったこと、また改修前の河川断面が小さいことから降雨・融雪による増水の影響を受けやすく工程管理に注意が必要な現場であったが、工程短縮のための工夫を取り入れ、且つ所定の品質を確保して工事を完了させたことから、優良工事としてふさわしいものである

◆施工業者からのPR

- ・場所打杭施工にあたり、施工能力の高い全周回転式オールケーシング工法を採用したその結果、設計工法のベント（揺動）式と比較し振動及び騒音の低減ができ、かつ、掘削時に土質の変化にも柔軟に対応でき、鉛直精度及び品質の向上を図った
- ・仮設工事用道路の設置にあたり、隣接工事の工程に影響され工程の遅れが予測されたが、関係者と協議を重ね、迂回案を立案して工期内完成を可能にした
- ・現場向かいの保育園に配慮し、作業ヤードを保護者の駐車スペースとして提供する等、関係を良好に保つことで工事を円滑に進めることができた

15 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	沢内地区 地すべり対策事業 26-02221-K01工事		
施工地名	由利本荘市東由利宿		
商号又は名称	宮原組・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	75,806,280 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 嵯峨 四郎
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許可番号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 関谷 洋史
発注公所	由利地域振興局 (農林部)		
主任監督員	畠山 欣也	監 督 員	加藤 晃
工 期	平成26年10月10日～ 平成27年3月25日	完成年月日	平成27年3月25日
概 要	1) 土工 排土工 4,110m ³ 2) 抑止工 法枠工・ロックボルト工 552m ² 3) 斜面改良工 植生基材吹付工・植生マット工 1,876m ²		
特 徴	1) 民家に近接した斜面への吹付枠工及びアンカー工である 2) ハングドリル工法の実施により安全性の向上と工期短縮に努めた		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完成(全景)</p>		 <p style="text-align: center;">ハングドリル工法</p>	

◆発注公所の推薦理由

- ・本工事は、沢内地区における地すべり対策に伴う、吹付枠工及びアンカー工である
- ・アンカー工における鉄筋挿入工で、当初設計での足場工による施工からラフテレーンクレーンを使用したハングドリル工法に変更することで、冬期間での施工性・安全性の向上と工期短縮に努めている
- ・施工箇所が民家に近接していることから、超低騒音型のバックホウを使用しているほか、自動エンジン停止機能により、燃料消費量・排ガス排出量の低減がなされるなど周辺環境への配慮が見られる
- ・施工箇所に隣接する一人暮らしの民家や自治会館の除雪を頻繁に行うなど、地域への貢献も評価できる

◆施工業者からのPR

- ・地すべり発生箇所での冬期にわたる施工のため、安全性の確保を図りながら工期短縮に努め、無事故での完成に繋げることができました
- ・工事完成後、地域住民の方から「雨が降っても安心して眠れる」という言葉を頂いたことが法面工事業に携わる者として何よりの喜びです
- ・今後も地域の安全・安心を守るため全社を挙げて努力して行きたいと思っております

16 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道108号） 26-HF18-60工事		
施工地名	由利本荘市矢島町立石		
商号又は名称	矢島建設株式会社	許可番号	05-000224
請 負 額	96,972,120 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 土田 克夫		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 繁則		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	京野 秀朗	監 督 員	鈴木 一利
工 期	平成26年6月9日～ 平成26年10月31日	完成年月日	平成26年10月29日
概 要	1) 施工延長 L=503.5m 2) 防雪柵 L=415.5m 3) 防雪柵 L=88m 4) 路肩ブロック L=545m		
特 徴	1) 現場条件に即した施工方法の検討・実施 2) 出来形、品質向上への積極的な取り組み		
写 真			
			
ダウンザホールハンマー施工状況		防雪柵上部設置状況	
			完成写真

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、国道108号における防雪柵を設置する工事である ・ 防雪柵の品質確保のため事前に試験杭を打設し、現場の地質条件に合わせ、ダウンザホールハンマー工法に変更したほか、出来形・品質管理には設計杭芯の座標化や杭偏心量測定など品質確保に工夫が見られる ・ 農地や市道に隣接する現場であったが、土砂飛散防止の簡易フェンスの設置や部材設置の際、橋梁点検車を使用するなど、安全性や作業効率の向上に努めている

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道108号前杉バイパス11月1日の開通に向け、現地条件に対応した工法選定、工程管理、安全対策を重点的に行いました ・ 現地照査等の結果、基礎杭施工箇所に玉石が確認されたため、確実性を重視し先行掘削工法（ダウンザホールハンマー工法）の採用、工場製品納期の管理・隣接工事業者との調整、鋼管杭芯の出来形及び品質確保、工程に影響を及ぼす要素について、注視対応しながら現場を進め、完成する事が出来ました ・ 今後も更なる技術力の向上と安全管理の徹底を目標に、地域に貢献できるよう努力して参ります

17 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道107号） 25-HF17-30工事		
施工地名	由利本荘市御門		
商号又は名称	長田建設株式会社	許可番号	05-000823
請 負 額	75,916,440 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	取締役社長 長田 憲一		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 栄		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	京野 秀朗	監 督 員	齊藤 一人
工 期	平成25年11月25日～ 平成26年6月20日	完成年月日	平成26年6月20日
概 要	1) 施工延長 210m 2) 地盤改良工 置換 1,370m ³ 3) 舗装工 表層 1,710m ² 4) カルバート工 1式		
特 徴	1) アスファルト舗装工の出来形・品質向上への取り組み 2) 近隣店舗・住宅への配慮の徹底		
写 真			
カルバート据付状況		アスファルト舗装敷設状況	
			完成写真

◆発注公所の推薦理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は本荘市街地における地盤改良工及びカルバートを施工する道路改良工事である ・ 舗装部の品質確保のため、アスファルトフィニッシャーに高感度センサーを設置したほか、アスファルト混合物の付着防止剤を使用するなど工夫がみられる ・ 市街地での施工となったが、店舗の出入り口を示す看板や騒音計・振動計を設置するなど現場に隣接する店舗・住宅に配慮する取組がなされている

◆施工業者からのPR	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融雪水の影響で早期施工が求められたボックスカルバートの施工では、油圧ジャッキによる推進施工を行い支障物撤去前の早期施工を実現しました ・ 地域住民からの要望等に速やかに対応する為の対応マニュアルを作成し、地域と共存できる現場体制を確立しました

18 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	岩井沢 治山施設機能強化事業 RF1115A921工事		
施工地名	仙北市田沢湖生保内		
商号又は名称	万六建設株式会社	許可番号	05-004995
請 負 額	98,331,840 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 田中 恒雄		
監理技術者等	監理技術者 三浦 裕喜		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	高橋 信義	監 督 員	佐藤 政樹
工 期	平成26年3月28日～ 平成26年11月28日	完成年月日	平成26年11月28日
概 要	1) 治山ダム工（鋼製谷止工） N=1基 2) 仮設道路工 L=140.0m		
特 徴	1) コンクリート品質向上のための取り組み 2) 周辺環境に配慮した取り組み		
写 真			
			
完成写真 鋼製スリット建込状況 コンクリート打設状況			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、秋田駒ヶ岳の火山噴火に起因し発生が想定されている土石流対策を含めた治山ダム工事であり現場は標高650mで積雪期は11月下旬からと施工時期が限られた地区である ・治山ダム工築堤に際し、必要であったコンクリート量は約1,600m³と膨大であり、その施工・品質管理が重要であったが、仮設計画の提案や品質確保のための独自管理項目の設定など、創意工夫をもって実施したことにより、予定どおり積雪期前に工事完了することが出来た ・ダム本体のほか、間詰め部分への木製残地型枠の使用や溪流内にある転石を使用した河道整理など美観向上を図り、周辺環境への配慮を実施した（周囲に田沢湖高原やスキー場）

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・生コンクリート打込みの際、バイブレーターにマーキングを施し、2層目からは先に締固めた層に10cm程度入り込むようにして締固めをおこなって施工した ・現場内に警報機付雨量計を設置し、大雨時の避難の目安とした また、コンクリート打設などのクレーン作業時は風向・風速を簡易風速計や吹流しの角度で確認し、安全の確保に努めた ・熱中症対策として、現場内に休憩用の日除けテントを設置し、塩入麦茶を7月から9月末まで毎日10L常備した

19 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	前沢線2工区 流域育成林整備事業 RF1201A111工事		
施工地名	大仙市協和峰吉川		
商号又は名称	進藤建設株式会社	許可番号	05-002019
請 負 額	43,147,080 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 進藤 章		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 洋平		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	高橋 信義	監 督 員	佐藤 政樹
工 期	平成26年6月9日～ 平成27年1月20日	完成年月日	平成26年12月19日
概 要	1) 林道開設 L=440m、W=4.0m 2) 切土6,643m ³ 、路盤工1,223.7m ² 、擁壁工2基、道路付属施設1式		
特 徴	1) 過酷な作業条件下（急峻な地形等）での施工 2) 工期達成のための工夫		
写 真			
			
完成写真		コンクリート路面工施工状況	
土工施工状況			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、森林整備に直結する林内路網を形成する上で、恒久的施設となる幹線的林道を整備するものである ・ 通常林道工事は、狭い作業ヤードでの施工となることに加え、本路線内でもっとも急峻な地形での施工となったが、安全管理はもとより施工管理を徹底して行い、事故も無く完成させた ・ 当初計画では想定していなかった、固結度の高い岩の発生や、風化作用の著しい切土法面への対策工法の追加など変更を余儀なくされたが、その対応が迅速であり、積雪期を避け1ヶ月の余裕をもって完成させた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 重機械の滑落による事故が懸念されたため、後方小旋回型油圧ショベル（後方カメラ付）の使用や誘導員配置による安全監視体制の充実を図った ・ 支障木伐採に先立ち、入念な事前測量を行い工事区域外の植物等を伐らないようにした さらに下流への濁水防止のため沈砂池にフィルター材を設け環境への配慮に努めた ・ コンクリート路面工の乾燥収縮による品質低下が懸念されたが、現場周辺には水源がないため場外からの水の確保や雨水を溜め活用した また、等間隔に設置したスプリンクラーを使用することにより、ひび割れを防止し品質確保に努めた

20 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単道路改築事業（大曲大森羽後線） I 1 0 6 - 9 0 工事		
施工地名	大仙市大曲福住町		
商号又は名称	高吉建設株式会社	許可番号	05-000041
請 負 額	35,169,360 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 佐藤 藤男		
監理技術者等	現場代理人 小松 正樹		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	鳴海 勝哉	監 督 員	高橋 弘樹
工 期	平成25年9月17日～ 平成26年4月25日	完成年月日	平成26年4月21日
概 要	1) 施工延長 L=129.9m、幅員 W=8.25(14.5~15.5)m 2) 車道舗装工 A=1,600m ² 3) 歩道舗装工 A=173m ² 4) 側溝工 N=1式 5) 歩道無散水消雪敷設替 A=147.9m ²		
特 徴	1) 安全対策の徹底 2) 周辺環境に配慮した取り組み		
写 真			
			
着工前		完 成	

◆発注公所の推薦理由

- ・本工区は大曲駅前の大仙市中心市街地にあり、日当たり交通量が9,200台余りと非常に多く、また、第一種市街地再開発事業が進められている区画とも隣接している
改良した交差点は小学校や中学校からほど近く、また病院や薬局を利用するお年寄り等、多くの方々が利用することから、綿密な安全管理が求められた
- ・これに対し、施工時の飛び石対策の工夫や付き添い誘導の実施等、きめ細やかな安全確保を行い、他の工事の模範となる対策を積極的に実践した
- ・また、近隣に個人病院・薬局・住宅が隣接しており、取り壊し工事等における騒音・振動対策についても創意工夫が見られ、様々な制約がある中で、沿線住民や病院・薬局関係者、入院患者等から苦情が寄せられることが一切無く、新組合病院の開業にも遅れることなく工事を完成させた

◆施工業者からのPR

- ・本工事の施工箇所は交通量が非常に多く、付近の小・中学校の通学路であったため、各学校・近隣住民への工事広報の配布と工事説明を行った
また、歩道幅を確保するため、スリムタイプの看板を使用し、安全管理に努めた
- ・コンクリート取り壊し作業は、ブレーカーを使用せず、静的破砕材（ブライスター）により施工することにより、振動・騒音の削減を徹底した

2 1 第 3 6 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	亀福（二期）地区 公害防除特別土地改良事業 00207-K02工事		
施工地名	横手市増田町		
商号又は名称	株式会社吉田建設	許可番号	05-002514
請 負 額	111,560,760 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A 級
代 表 者	代表取締役 吉田 博行		
監理技術者等	現場代理人 井上 亨		
発注公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	田上 文啓	監 督 員	岩沢 竜太
工 期	平成26年3月26日～ 平成26年11月28日	完成年月日	平成26年11月21日
概 要	1) 客土工 A=4.2ha		
特 徴	1) 現場条件に適した施工（客土材質に適用した植生による法面保護） 2) 安全確保及び地域住民（関係者）との協調		
写 真			
			
植生マットによる法面保護	GPS機能付ドライブレコーダー による安全管理対策	土壌改良施工状況DVD (受益農家に配布)	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 客土材は砂質系が強く植生に時間を要するため、創意工夫による法面崩壊防止対策として植生マットを施工している ・ 沿線住民に対する客土材運搬時のダンプトラックの運行ルートのお知らせ、新技術を活用した運行管理を実施している ・ 土壌改良材の施工状況を記録し配布するなど、受益者目線のきめ細かな配慮が見受けられる

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長年に渡り公特事業・ほ場整備に携わってきた経験・実績を活し、受益者に納得・満足していただける工事を目指し取組んだ結果、品質向上・工期短縮・無事故完成を実現できました ・ 引渡し後、受益者の維持管理が容易になるよう配慮した施工を心がけました ・ 客土運搬車両にドライブレコーダーを搭載し、運行管理の徹底と安全意識向上を図りました ・ 土壌改良工の一連の作業を記録したDVDを制作し、受益者に配布して施工状況・出来栄を確認してもらい信頼を得ることができました

2 2 第 3 6 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	県単道路補修事業（野崎十文字線） G 5 5 7 - 2 0 工 事		
施工地名	横手市大雄字田根森 他		
商号又は名称	ミノル工業株式会社	許可番号	00-024421
請 負 額	12,463,200 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A 級
代 表 者	代表取締役 神谷 俊彦		
監理技術者等	現場代理人 松田 怜		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	松井 一義	監 督 員	遠田 久雄
工 期	平成26年6月27日～ 平成26年9月30日	完成年月日	平成26年8月21日
概 要	1) 施工延長 L=640m 2) 路面切削工 A=3,150m ² 、オーバーレイ工 A=3,150m ² 区画線 N=1式		
特 徴	1) 現道舗装工事 2) 品質向上に対する取り組み		
写 真			
			
完成写真	レーキマン不要のアタッチメントを装着し、 施工した	切削後の段差箇所を視認性の 良いマーキングを施工した	

◆発注公所の推薦理由

- ・ 当工事は、交通量の多い地区での舗装工事であり、施工にあたっては道路交通への配慮が特に必要とされたため、舗設時に交通車両及び作業員の安全確保のための対策に努めた
- ・ 舗設時に打継ぎ目をジョイントヒーターを使用し、クラック発生防止に努め、維持管理コスト低減への工夫がみられた
- ・ 舗設時に超音波自動センサを使用することにより、出来形の精度向上、路面の平坦性向上が図られ、舗装の品質向上に向けた取り組みに優れている

◆施工業者からのPR

- ・ 工事施工に先立ち、近隣住民の意見・要望を取り入れるため工区内へ目安箱の設置を行い、道路利用者の意見を取り入れた施工及び地域貢献活動を行うことに留意し、着手しました結果、施工時間変更の要望・交差点部除草の要望・段差による振動対策の要望等多数の意見がよせられ、近隣住民・道路利用者のニーズを満たした施工をしました
- ・ 建設業界へ興味を持ってもらおうと、近隣保育園のご協力のもと園児と建設機械とのふれあい体験を開催し、交流を図りました

23 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単河川改良事業（横手川） K416-10工事		
施工地名	横手市下境		
商号又は名称	伊藤建設工業株式会社	許可番号	00-024734
請負額	88,078,320円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 中村 清昭		
監理技術者等	現場代理人 小田嶋 幸夫		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	阿部 透	監督員	長谷川 丘
工期	平成26年7月11日～ 平成27年3月20日	完成年月日	平成27年3月20日
概要	1) 施工延長 L=104.5m 2) 護床工 N=519個 3) 魚道工 L=67.7m		
特徴	1) 冬期施工におけるコンクリートの品質確保 2) 護床工の出来形向上		
写 真			
			
下流から上流を望む		魚道工完成状況	
			護床工完成状況

◆発注公所の推薦理由

- ・ 魚道工コンクリート打設時において、流動性および耐久性の向上を目的とした新技術である生コンクリート改質材を添加させたことで、魚道表面は凍結の形跡がなく綺麗な仕上がりとなった
- ・ 給熱養生時にはサーモセンサーを取り付け過度な温度上昇による乾燥ひびわれの発生を抑制するなどして品質確保の取り組みを行っている
- ・ 護床工は歪なブロック配置計画であったが、河床部不陸整正工を徹底したほかブロック据付け時は横断変化点毎に設置高の測定箇所数を増やし管理することで、正確な計画勾配の整形に努めた

◆施工業者からのPR

- ・ 10月中旬頃より11月末迄、現場周辺に毎日数十匹の鮭が産卵のため遡上していたので、瀬回し後、騒音で鮭に悪影響を与えないように重機作業等を慎重に行った
- ・ 資・機材搬入路は既設堤防の使用となっていたが、既設堤防はW=3.0mと狭く、破損を防ぐ為土地改良区の了解を得て、農道に敷き鉄板で養生する事により、堤防の破損を未然に防いだ
- ・ 職人不足や、鋼材（鋼矢板・敷鉄板）の入手困難等で工程管理に苦労したが、パーティを増やしてどうにか増水時まで、魚道工・護床工を完成する事が出来た

24 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	二ツ橋地区 ため池等整備（ため池）事業 01304-K01工事		
施工地名	羽後町上仙道		
商号又は名称	株式会社柴田組	許可番号	05-000321
請 負 額	27,894,240 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 柴田 晋		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 一志		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	沢田 明彦	監 督 員	伊藤 俊治
工 期	平成26年8月8日～ 平成26年12月5日	完成年月日	平成26年12月5日
概 要	1) 堤体工 N=1式、堤体盛土工 V=5,899m ³		
特 徴	1) 天候の影響を受ける堤体盛土工事であり、適切な工程及び品質の管理が求められる		
写 真			
			
完成(堤体盛土)		降雨対策状況(シート養生)	
		RIによる現場密度試験	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、天候の影響を受ける堤体盛土工事であり、かつ工期はかんがい後から降雪前までの限られたものであった このような条件下において、降雨が予測される際の迅速な排水対策の実施、RI計器による現場密度試験等の測定により、適切な工程管理及び品質管理に努め、良好に工事を完成させた ・施工中にため池受益者及び地域住民を招いての現場見学会を開催し、地域住民との積極的なコミュニケーションを図った

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・盛土の品質管理について、RI計器を使用した管理を提案し、迅速な品質管理及び適切な工程管理に努めた ・バックホウにオートレベル機能を付加し、切土等の精度向上を図りつつ、迅速な施工に努めた ・盛土材運搬において、沿線住民へ2回のチラシ配布（施工前・施工中）を行い、円滑な施工に努めた ・現場出入口にポンプ散水による車両洗浄場を設け、公道への泥等落下防止を図った

25 第36回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金事業（国道108号） HF15-60工事		
施工地名	湯沢市秋ノ宮		
商号又は名称	株式会社皆瀬土木	許可番号	05-004615
請負額	109,804,680円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 高橋 光明		
監理技術者等	現場代理人 堀江 勇		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	千葉 寿晃	監督員	福田 行裕
工期	平成26年1月31日～ 平成26年12月22日	完成年月日	平成26年12月22日
概要	1) 施工延長 L=212.3m 2) 地盤改良工(安定処理) A=1,360m ² 3) 場所打函渠工 N=1基 4) 護岸工 N=1式 5) 迂回路工 N=1式		
特徴	1) 交通量の多い国道工事での安全対策の徹底 2) 地元住民への工事内容の積極的な周知		
写 真			
			
独自に設置した安全施設		ボックスカルバート	
			切り回し迂回路

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、国道108号秋の宮工区改良工事に伴うボックスカルバートの設置工事である ・国道108号は宮城県大崎市と秋田県湯沢市を結ぶ観光道路であり、地域住民の重要な生活路線であったため、ボックスカルバート施工の際は迂回路を設置し現交通を切り回す必要があり、その時期は冬期となった ・迂回路切り回しによる事故（変則的なカーブがあるため）が懸念されたが、自主的に電光掲示板、反射板を設置 また、凍結が予想される天候時は凍結防止剤を散布するなどして安全管理を徹底した ・このため、懸念された事故の発生もなく無事に工事を終えた ・工事の進捗状況や、工事以外の情報などを記した独自の「工事だより」を作成し情報をオープンにして住民へ配布したことにより、住民からの信頼も厚く苦情の発生がなかった

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・市水道切回し工事及び積雪による工程への影響がありましたが適宜作業計画を見直し工期内に完成しました ・現場打ちボックスカルバートの品質向上のため温度センサーによるコンクリートの温度管理を徹底し、適宜散水養生を実施し高品質を確保するよう品質管理を行いました ・現場従事者一丸となり、『事故を起さない・起させない』をモットーに第三者を含め、無事故・無災害になるよう安全管理に努めました

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井 啓一
選考委員	総	務	部長	天利 和紀
〃	農	林	水産部長	奈良 博
〃	建	設	部長	石黒 互

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建	設	部	次	長	柴田 公博
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)					
〃	部	会	長			及川 洋
〃	専	門	委	員	長谷川 兼一	
〃	専	門	委	員	石山 智	
〃	専	門	委	員	永吉 武志	
〃	(秋田県知事部局関係課)					
〃	農	林	水産部	参事兼農地整備課長	瀧川 拓哉	
〃	水	産	漁	港課長	千葉 俊成	
〃	森	林	整	備課長	佐藤 龍司	
〃	建	設	政	策課長	渡辺 雅人	
〃	技	術	管	理課長	菅原 喬	
〃	都	市	計	画課長	石川 浩司	
〃	道	路	課	長	佐藤 和義	
〃	河	川	砂	防課長	鍍 藤 広	
〃	建	設	部	参事兼港湾空港課長	高橋 靖弘	

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法及び「建設産業における生産システム合理化指導要綱」を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告にもとづいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰、地域振興局長表彰とする。

- 2 被表彰者は、施工企業の代表のほか、その工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

1. この要綱は、平成23年4月25日から施行する。
2. 平成22年度の豪雪又は東北地方太平洋沖地震に伴い、契約事項第20条第3項又は第21条第2項の規定に基づき、工期延長された工事で、平成23年4月1日から同年同月末日までに完成した工事については、本要綱第2条に規定する前年度完成した工事として取り扱うものとする。
この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P31の名簿参照のこと

ユタカな国へ

あきた
びじょん
た

